

主 直 日 誌

12月5日(火) 天候 bc

主直氏名

【実習・課業の内容】

凍結シフト、海洋観測、活餌管理、当直、課業

【感想】

今日は早朝からシフト作業がありました。今航海で左舷班は2回目でしたが、漁業高等学園の生徒も積極的に作業に参加していて、流石だと感じました。シフト作業はとても危険な作業です。少しでも気を抜けば怪我をするし、相手に怪我をさせる事もあります。お互いに声を掛け合って作業することが大事だと再確認しました。

焼津を出港して今日で12日が経ちました。釣果があった日は船内がにぎやかでとても良い雰囲気になり、充実した船内生活を送れていると感じます。しかしその反面、船内生活に慣れ、五分前行動や整理整頓など少し疎かになっている部分もあると思います。魚を釣ることだけが実習ではないと思います。残りの日数も限られているので、今一度気を引き締め直して実習に臨みたいと思います。



今日の操業風景です。「ヨイショー！！」大きなカツオが釣れました。



こちらは専攻科の「天測」。航海士の基本、太陽高度測定です。手にしているのは「六分儀（ろくぶんぎ）」という航海計器です。コロンブスもこうやって太陽高度を測り、自分の位置を割り出したのかもしれない。